

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2015No.33】(HP 収載)

分類： ネットストリーミング

局等： ベルリンフィル Digital Concert Hall

作曲家： ヨハネス・ブラームス

曲名： ヴァイオリン協奏曲ニ長調

演奏： クリスティアン・テツラフ／ラトル指揮ベルリンフィルハーモニー

関連サイト： <https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/20447#watch:20447-1>

概要：

2015年6月21日、ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



クリスティアン・テツラフの演奏はややアップテンポで切れの良い演奏でバイオリンの音もフレッシュな感じがします。バックのベルリンフィルのサポートが素晴らしく、大ホールの響きが心地よく聴けます。

手元にあるブラームスのヴァイオリン協奏曲では、最近演奏を聴いてきたヒラリー・ハーン/サロネン指揮フィルハーモニアと五嶋みどり/メータ指揮ミュンヘンフィルのBS録画および、ギルシャム/アバド指揮ベルリンフィルの Digital Concert Hall の演奏がありますので聴き比べてみました。ちなみにテツラフの楽器は当初ストラディバリウスを使用していたそうですが、現在はドイツのシュテファン・グライナーの手になる1999年製の現代楽器だそうで、ヒラリー・ハーンはヴィヨーム、五嶋みどりはガルネリで、ギル・シャムはストラディバリウスです。

ヒラリー・ハーン/サロネン指揮フィルハーモニアは、ヒラリー・ハーンの透明度の高い、伸びのあるボウイングがいつもコンビを組んでいるフィルハーモニアの厚みのあるバックに支えられて聴かせてくれます。五嶋みどり/メータ指揮ミュンヘンフィルはガ

ルネリの音を特徴つけるようなダイナミックな弾き方で熱のこもった演奏ですが、バックのメータ指揮ミュンヘンフィルと今一つかみ合っていない印象です。

ギル・シャム/アバド指揮ベルリンフィルは、2002年5月のパレルモでのヨーロッパコンサートで、指揮も年代もホールも異なりますが、まさしくベルリンフィルの音で、ギル・シャムのストラディバリウスが耽美的なブラームスを奏でています。

